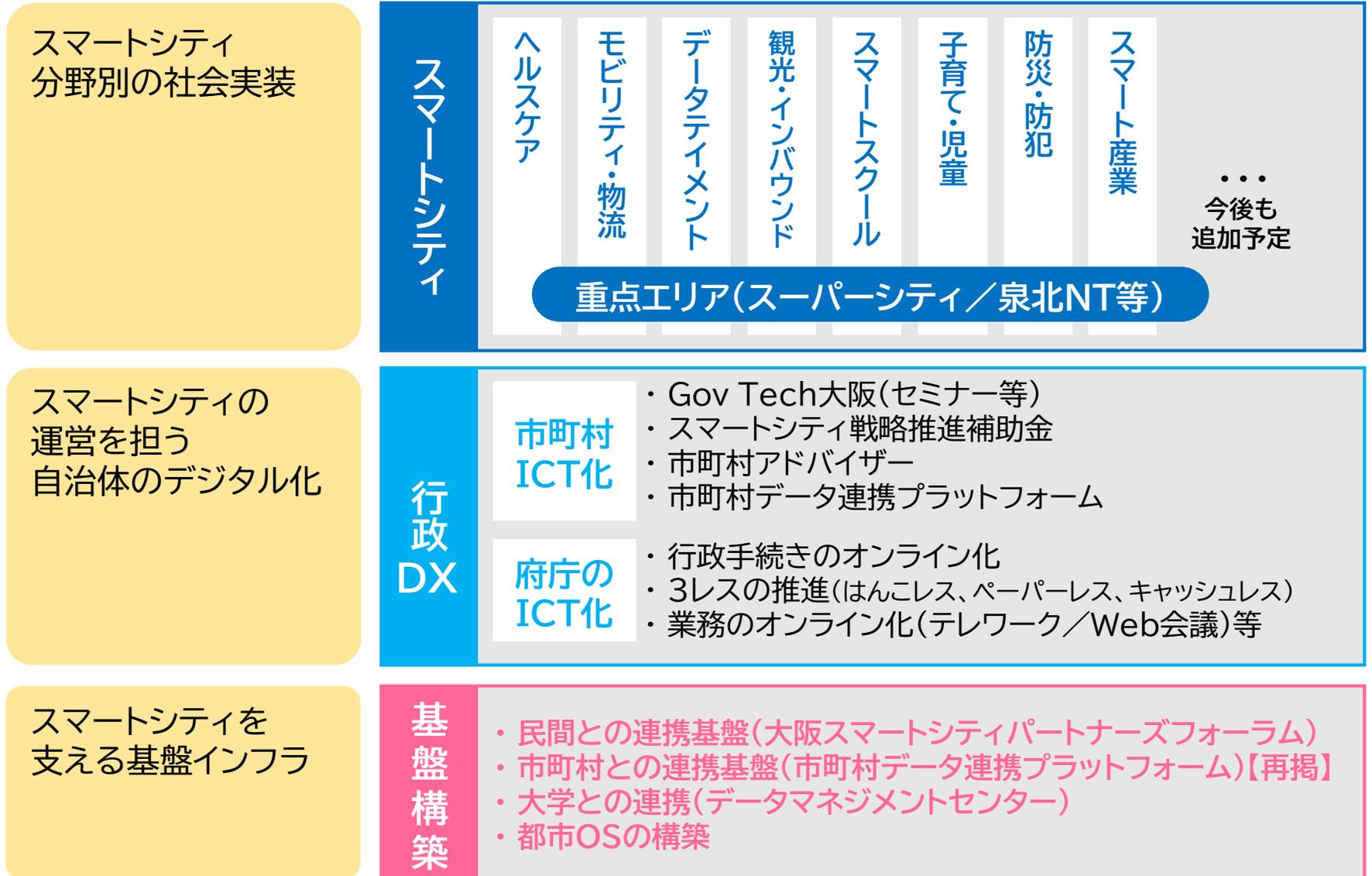


大阪スマートシティ戦略Ver1.0の取組み状況(全体の構成図)



大阪スマートシティ戦略Ver.1.0における取組み状況【大阪府】

(△は調査研究、○は事業着手、◎は想定以上)

項目		2020年度(2020年12月まで)		
★新型コロナ対策		◎	・ コロナ対策サイト、コロナ対応管理システム、新型コロナ追跡システムなど多数	
スマートシティテーマ	モビリティ・物流	○	・ 自治体・地域主導の取組み・・・ 池田市、河内長野市、熊取町など ・ 企業主導の取組み・・・ AIオンデマンド、自動運転実証実験、パーソナルモビリティ等	
	データヘルス	△	・ ライフステージを通じたデータ活用による健康づくりについて特別参与等と調査研究	
	高齢者支援	△	・ スマートシニアライフ事業(仮称)の検討に着手	
	観光・インバウンド	△	・ 祭りを軸とした観光コンテンツの検討などに着手【OSPF】	
	スマートスクール	○	・ 全国に先駆け、府立高校の全生徒用に1人1台タブレット端末を配布。《教育庁》	
	子育て・児童	△	・ ITによる切れ目のない子育てサポートなどに検討に着手【OSPF】	
	スマートファクトリー	△	・ シェアリングエコノミーで中小企業の生産性を向上させるシステム検討に着手【OSPF】	
地域重点	スーパーシティ	○	・ 大阪市と連携して地元のプレイヤーや内閣府と調整	
	泉北ニュータウン	△	・ 堺市のスマートシティ構想と連携。東京でフォーラムの開催	
行政DX	市町村	スマートシティ補助金	○	・ 河内長野市をはじめ6件を採択。採択した事業の横展開が今後の課題
		市町村アドバイザー	○	・ 市町村におけるICTによる業務改善等についてアドレス(コロナで遅延)
	行政手続きオンライン化	○	・ 導入手法の紹介やBPR結果の共有など、市町村のオンライン化推進を支援	
	府庁	業務のオンライン化	○	・ 新型コロナ拡大に伴い、テレワークやWeb会議の環境を積極的に整備
		行政手続きオンライン化	○	・ 新型コロナ関連のオンラインシステム化を迅速(アジャイル方式)に構築
	3レス推進	○	・ ①はんこレス、②ペーパーレス、③キャッシュレスを推進	
連携基盤	公民共同エコシステム	◎	・ 大阪スマートシティパートナーズフォーラムを8月25日に設立。300超の会員登録	
	大学との連携基盤	△	・ 府立大学が新設するスマートシティ研究センターと連携するなど、連携を強化	
	市町村との連携基盤	△	・ 市町村データ連携プラットフォームを構築。2021年2月から運用開始予定	

大阪スマートシティ戦略Ver.1.0における取組み状況【大阪市】

戦略テーマ	主な取組み状況	
住民の生活の質(QoL)向上の具体化に向けた取組み		
行政DX	○	行政手続きのオンライン化、新型コロナウイルス感染症対策支援情報サイト、BYOD、3レス、ICT活用による業務効率化※(AI、RPA、チャットボット、テレワーク) ※一部検証中
スマートモビリティ	△	AIオンデマンド交通の社会実験、実証実験フィールド提供(ロボット、ドローン、電動モビリティ等)
データヘルス	○	特定健診経年データ等を活用した保健指導、アスマイルの普及促進
楽しいまちづくり	○	光の饗宴、SAKUYA LUMINA、大阪城イルミネーション
まちのキャッシュレス	広	-
防災	○	ICTを活用した災害時の発信力・情報共有手法の強化 ※一部検証中
教育	○	学習動画、ダッシュボード(データ可視化)システム
	△	双方向型オンライン学習環境・学習者用端末の整備
スマートシティを支えるデータとインフラ		
オープンデータ	○	大阪市オープンデータポータルサイト
データ活用PF	広	-
5G	△	アセット開放手続きの一元化

- ✓ △は調査研究・検討・検証中、○は実装・事業着手、広:広域的取組み
- ✓ 下線部取組みは資料6参照